

令和 3 (2021)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	神経疾患における神経回路の修復機構の重層的解析
研究代表者	山下 俊英 (大阪大学・大学院医学系研究科・教授) ※令和 3 (2021)年 7 月末現在
研究期間	令和 3 (2021)年度～令和 7 (2025)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、中枢神経回路の障害とその後の修復過程を、生体システムの機能ネットワークの観点から解析し、生体システムの時空間ダイナミクスによる一連の過程の制御機構の統合的解明に取り組むものである。</p> <p>特に、神経回路と各臓器の連関による制御機構を見いだすことを目的としている。</p> <hr/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>応募者のこれまでの実績に基づいた研究であり、研究成果が得られればその医学的、社会的意義は極めて大きい。各臓器が、中枢神経回路障害と機能回復過程をどのように制御しているかを分子、細胞、神経回路、さらに個体レベルで解明するとともに、それらの動作原理を明らかにすることが期待される。さらに、これらの研究成果に基づき、新規の治療法につながるシーズを獲得することが期待される。</p>